生き物新聞

発行者

ななんと加茂川にぜつめつきぐ種のゲンゴロウがいた!!

分類 コウチュウ目ゲンゴロウ科

生息地 北海道から九州の池

体長 約39mm

[illegible] 春〜秋

えさ ほかのこん虫や小魚など

その他 ゲンゴロウを手でつかまえると頭の付け根あたりから、白い液をまた口から黒い液を出してあばれどちらもいやなにおいがする。

(ぼくもゲンゴロウをとったことがあるけど、そのにおいはあまりくさくなかったです)

あと調べて分かったことはゲンゴロウはぜつめつきぐ種ということが分かった。

加茂川にもアメリカザリガニが!!

分類 アメリカザリガニ 別名エビガニ

甲の長さ 約10cm

生息地 本州、四国、九州、アメリカの

えさ 雑食

説明 ミシシッピー川原産の外来種 もともとは食用ガエル(ウシガエル)のえさとして輸入されたものが逃げ出して分布するようになった。

もともとアメリカザリガニはアメリカから来た外来種です。

ぜつめつきぐ種とは!?

ぜつめつきぐ種とわ日本でぜつめつが心配される生き物です。その生き物の数がへっていることです。

感想

ぼくがこの発見で一番よく分かったことは、ゲンゴロウがぜつめつきぐ種ということが分かりました。いつもゲンゴロウはふつうの池などにいると思ったらちがいました。そのゲンゴロウが加茂川にいるなんてすごいと思いました。もっとそのゲンゴロウのことを調べていきたいと思いました。

生き物新聞

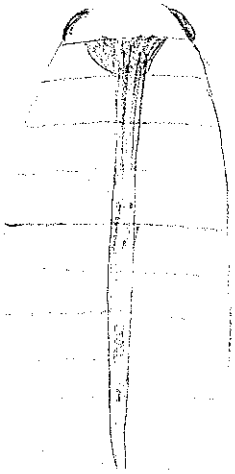
発行者

川には？
？。どんな生き物がいるかなぁ。？。

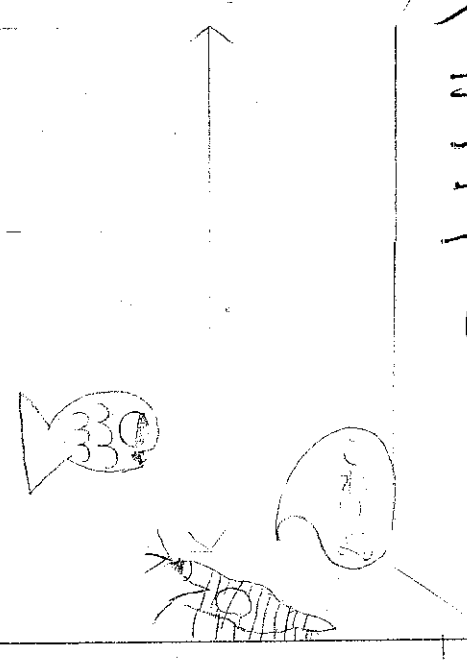
イソコツブムシ

陸にいるダンゴムシと以ていて、体をまるめることができる。

すなまじりの川底や石の間にいる。



スジエビ



川の60cm下の方にスジエビはいます。大きな魚がいるとスジエビはこうふんします。

スジエビをかっている人はきをつけてください。

メダカ

しっぽのつけねからたまごを産みます。

白いえきを出してたまごを産みます。

たまごを産むとき

全長

3日に1mmずつのびます。全長がかわるときは、白いえきを出してのびるそうです。

感想

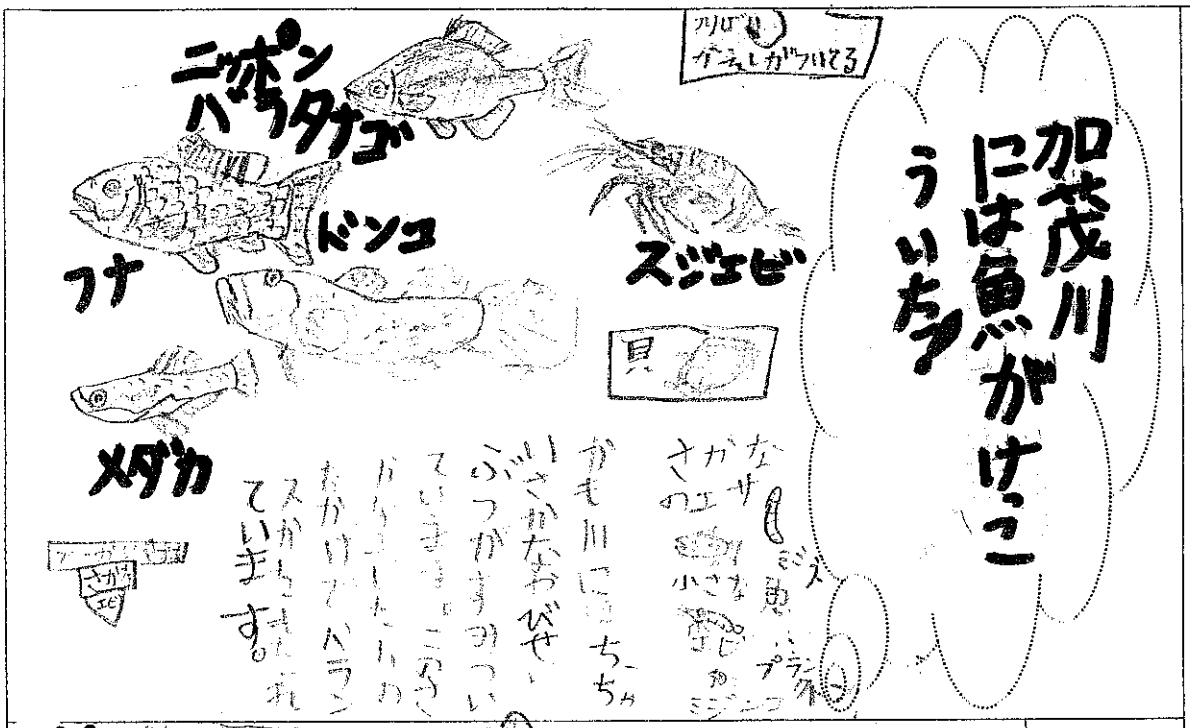
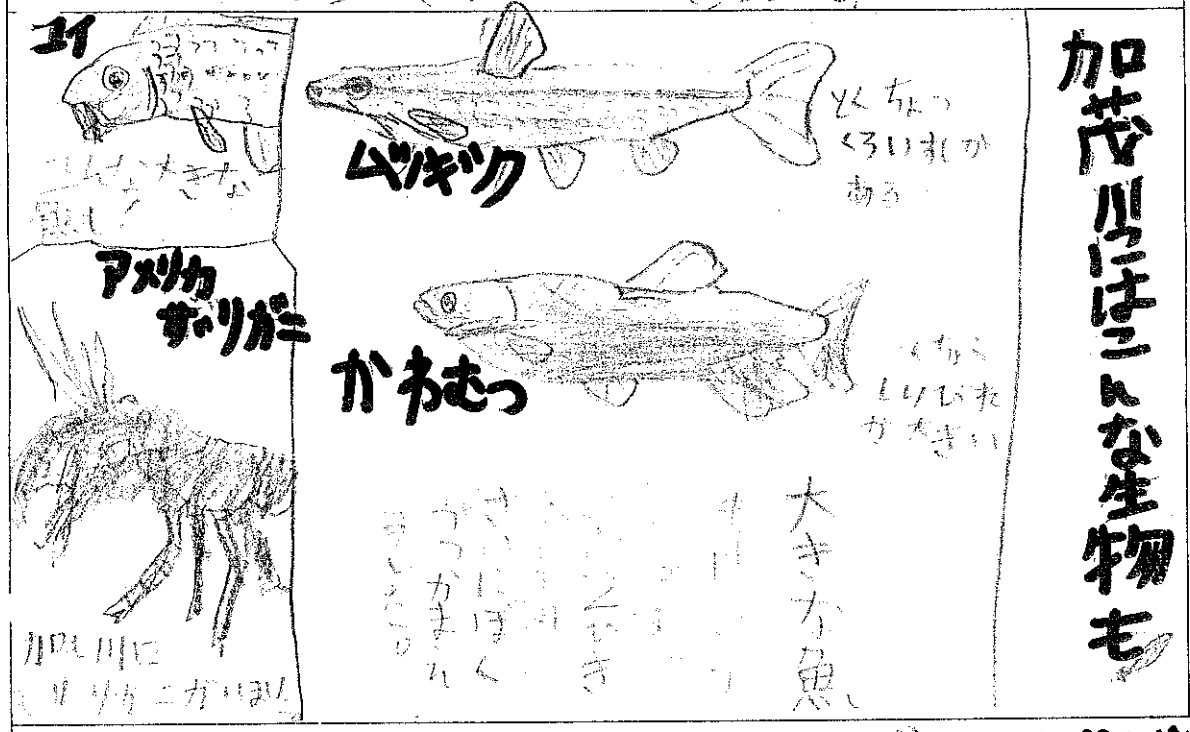
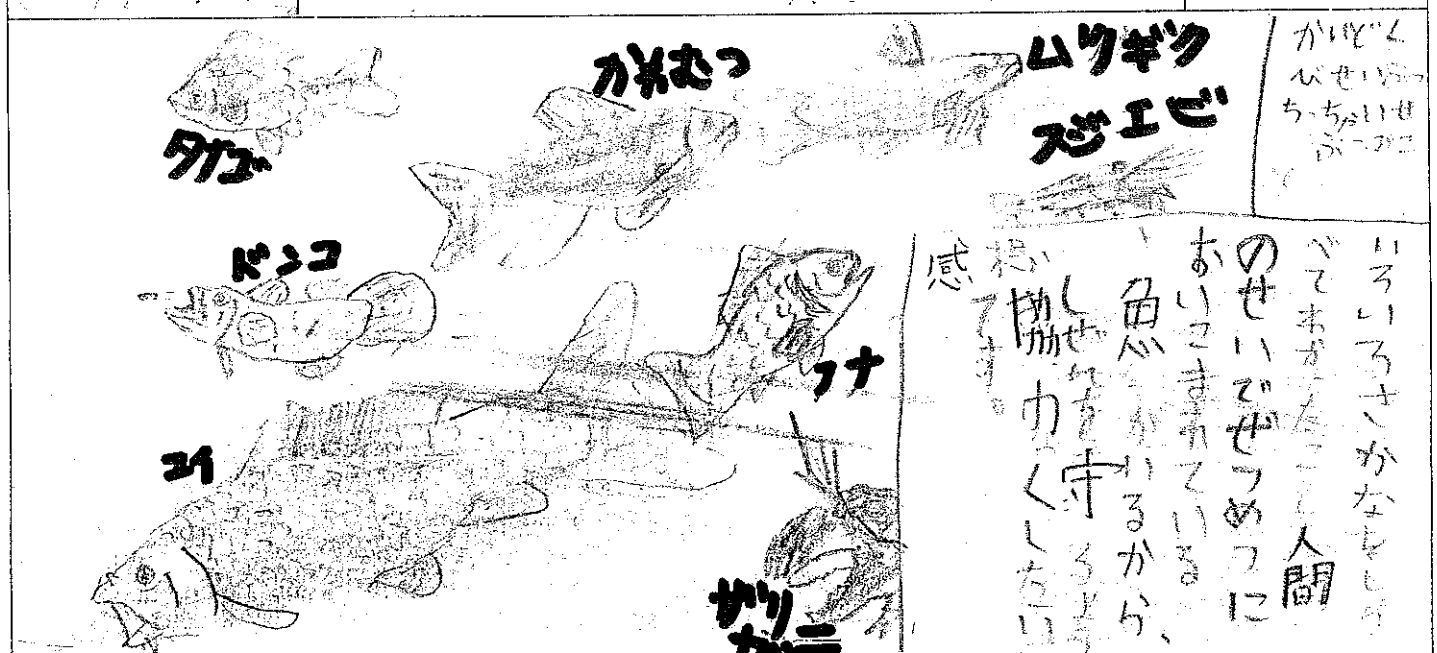
水の中の生き物は体を丸めることができる生き物がいました。メダカは3日に1mmずつのびることが分かりました。

生き物を大切にしましょう。

魚新聞

発行者

加茂川には魚がけっこういたっ



加茂川にはこんな生物も